

R5 県政運営の基本的考え方の方向性、重視するポイント

未来の「やまがた」をつくる 人材育成・確保を推進!

- ◇ 必要とされる職業能力の変化に対応した知識・技術の習得

持続可能な成長に向けた産業の生産性向上・高付加価値化!

- ◇ 建設業等、あらゆる産業分野におけるDXの推進

県民が幸せを実感できる暮らしやすい「やまがた」へ!

- ◇ 本県ならではの地域資源、暮らし方などの価値を見つめ直すきっかけづくりや機運の醸成

安全・安心な暮らしや交流を支える「やまがた強靱化」!

- ◇ ソフト・ハード両面からの対策による災害に強い県土づくり
- ◇ 地方分散等を見据えた交通ネットワークの充実強化
- ◇ 道路交通の安全確保
- ◇ カーボンニュートラルの実現に向けた取組みの推進

◎新規（一部新規含む）

1 安全・安心で持続可能な県土をつくる「やまがた強靱化」の推進

(1) 激甚化・頻発化する豪雨災害への対応

～国や市町村等と連携した最上川水系などでの「流域治水」の推進～

- ・建設災害復旧事業費、建設災害関連改良対策事業費（うち令和4年6月から8月の豪雨対応） 1,772,365千円
令和4年6月から8月の豪雨で被災した公共土木施設の復旧、改良
- ・河川整備補助事業費、河川整備単独事業費、国直轄河川事業費負担金 11,433,557千円（R5:3,226,769千円）
最上川緊急治水対策プロジェクト等に基づく、浸水被害の解消を図るための計画的な河川整備
- ・土砂災害対策事業費（砂防、地すべり、急傾斜地） 4,684,333千円（R5:2,778,633千円）
土石流等の土砂災害を防止するための砂防えん堤や地すべり防止施設の整備、急傾斜地崩壊防止工事等の実施



令和4年8月の大雨で被災した小白川の改良復旧（飯豊町）

(2) 災害に強い地域づくりの推進

- ・道路改築事業費、交通安全道路事業費、街路整備事業費（うち緊急輸送道路整備、無電柱化） 7,539,890千円（R5:4,287,482千円）
緊急輸送道路及び孤立危険集落アクセス道路の整備、防災機能の強化を図るための無電柱化の実施
- ・雪に強いみちづくり事業費 1,204,895千円（R5:873,198千円）
緊急輸送道路及び孤立危険集落アクセス道路の雪崩対策等の実施
- ・災害に強いみちづくり事業費 1,139,764千円（R5:869,418千円）
緊急輸送道路及び孤立危険集落アクセス道路の落石防止対策等の実施
- ・道路除雪費 5,204,393千円
県管理道路の除雪の実施



道路拡幅、無電柱化の例 四日町山家町線（山形市）

- ◎盛土災害防止対策事業費 44,000千円
「宅地造成及び特定盛土等規制法」に基づく規制区域を指定するための調査の実施

(3) インフラ老朽化対策の推進

- ・道路施設長寿命化対策事業費、河川管理施設長寿命化対策事業費、砂防関係施設長寿命化対策事業費、空港安全対策事業費（うち空港施設長寿命化対策）、港湾施設長寿命化対策事業費 12,543,823千円（R5:6,384,146千円）
公共土木施設の長寿命化対策（点検、補修、更新）の実施

(4) 港湾・空港における脱炭素化の取組みの推進

- ◎酒田港施設整備費【特別会計】（うち高砂埋立用護岸整備） 200,000千円
酒田港を活用した洋上風力発電の導入等を見据えた、浚渫土砂を受け入れるための高砂埋立用護岸の整備に必要な調査、測量、設計の実施
- ◎空港整備事業費（うち山形空港脱炭素化基礎調査） 6,690千円
山形空港の脱炭素化を検討するための基礎調査の実施



酒田港

2 多様な交流基盤の形成

(1) 交通基盤の整備

- ・道路改築事業費 6,572,388千円（R5:3,225,000千円）
インターチェンジアクセス道路等の整備、県管理の国道や県道における道路改良やバイパスの整備
- ・国直轄高速道路等事業費負担金、国直轄道路事業費負担金 8,649,034千円（R5:7,743,607千円）
高規格道路及び国直轄国道の整備促進（県が事業費の一部を負担）
- ・空港整備事業費 338,106千円
山形空港及び庄内空港の滑走路端安全区域（RESA）等の整備
- ・酒田港施設整備費【特別会計】 362,700千円
ふ頭の舗装改良、上屋照明灯のLED化等の実施



R5一部供用開始予定
道路改築事業の例（国）287号 豊穰橋（米沢市）

(2) ポストコロナにおけるインバウンド拡大への対応

- ・空港整備事業費（うち機能強化の検討） 1,370千円
滑走路延長など空港の機能強化の実現に向けた手法の検討
- ・酒田港整備事業費（うち外航クルーズ船受入体制整備） 23,316千円
外航クルーズ船受入のための保安対策等の実施

3 にぎわいがあり誰もが快適に活用できる県土の形成

- ・良質住宅ストック形成推進事業費 671,452千円
快適に長く暮らすことができる住宅の新築及びリフォームに対する支援
- ・交通安全道路事業費 4,640,275千円（R5:3,273,138千円）
事故危険箇所、交通渋滞の解消のための歩道の整備や交差点改良等、通学路の合同点検を踏まえた安全対策の実施
- ・流域下水道事業【公営企業会計】（うち流域下水道整備） 2,459,014千円（R5:2,238,014千円）
快適な生活環境の確保のための県内4処理区の処理場及び管渠の改築更新等の実施
- ・都市公園活用推進事業費 830,942千円（R5:675,542千円）
都市公園の魅力向上に向けた計画的な施設更新及び利用者のための環境整備
- ・やまがたの誇れる景観魅力発信事業費 3,399千円
景観ガイドブックの作成等による本県の魅力的な景観の情報発信等の実施



R5事業完了予定
ストリートコース改修 R4.10月完成
最上川ふるさと総合公園 スケートパークの更新（寒河江市）

4 「やまがた強靱化」を担う人材の育成・確保

- ◎建設DX推進事業費 4,329千円
ICT施工を実践できる技術者の育成のための研修の実施、公共工事等に3次元データを活用するための発注者（県）の機材の整備等
- ・建設産業人材確保・育成事業費 746千円
建設産業の人材確保に向けた事業者団体による取組みへの支援等
- ・やまがたの木造住宅建設担い手育成事業費 1,786千円
若手大工の技能習得に対する支援、高校生を対象とした大工職人の魅力を伝えるセミナーの開催、住宅情報総合サイトの運営
- ◎県土形成企画事業費 1,718千円
職員の政策形成能力の向上のため、若手職員による政策課題研究を実施



ICT施工の例

車載モニター